

令和3年度 安全衛生に係る千葉労働局長表彰受賞者一覧

(敬称略)

1 優良賞(2事業場)

分野	事業場名	主な受賞理由
安全確保対策	株式会社熊谷組 首都圏支店 (仮称)幕張新都心若葉住宅地区計画(B-2街区) (建設業・有期事業)	・4年に及ぶ大規模な工事において全工期無災害(※)を達成。 ・施工環境に合わせたリスクアセスメントを実施。 ・統括安全衛生責任者による毎日の巡視に加え、各種パトロールを実施し、問題点の指摘のみならず、好事例の水平展開を図り、関係請負人の労働者の安全衛生意識の高揚を図った。 (※「無災害」とは休業4日以上 の災害がないこと。以下同じ。)
安全確保対策	昭和運送興業株式会社 (道路貨物運送業)	・29年以上にわたり無災害を継続。 ・リスクアセスメントについては交通労働災害防止や荷役作業における労働災害防止を中心としたものを計画的に実施しており、職場のリスクを低減する取組を積極的に行っている。 ・運転日報の裏面にヒヤリハット記載欄を設け、ヒヤリハット事案があった場合は速やかに記入して報告できるようにしているなど、創意工夫と労使の協力により実施される安全衛生意識の高揚のための活動が特に活発に行われている。

2 奨励賞(8事業場)

分野	事業場名	主な受賞理由
安全確保対策	理研ビタミン株式会社 千葉工場 (食料品製造業)	・約4年間、無災害。 ・安全衛生活動計画を各部署ごとに作成し、年2回、活動状況を評価している。 ・新入、転入者向けの独自の安全マニュアルを資料を作成し、安全衛生教育に活用している。 ・労働者がそれぞれ安全衛生に関する「個人行動目標」を立て、四半期ごとに評価する取り組みを進めるなど創意工夫と労使の協力により実施される安全衛生意識の高揚のための活動が活発に行われている。
安全確保対策	株式会社粕谷商会 千葉工場 (クリーニング業)	・約7年間、無災害。 ・リスクアセスメントの結果、残存する危険個所の「見える化」をすすめている。 ・誰もが一目でキレイとわかる工場、どこに何があるのかわかる工場を目標とした「クリーン作戦」を展開する、また、安全管理者等が主体となって4S活動を行うなど創意工夫と労使の協力により実施される安全衛生意識の高揚のための活動が活発に行われている。

分野	事業場名	主な受賞理由
健康確保(有害物)対策	日本ペイント防食コーティングス株式会社 (化学工業)	・作業環境測定の結果、第1管理区分とならなかった単位作業場所については速やかに原因を究明し、対策を講じ、次の測定時期を待たず迅速に再測定を行って、改善を確認している。 ・熱中症の危険性が高まる時期には、WBGTを測定し、作業環境改善に活かすため、測定値データを蓄積している。 ・有機、特化物、じん肺の特殊健康診断を年2回対象者に確実に実施し、有所見者の発生も抑えられている。
安全確保対策	株式会社湯浅建設 三郷流山橋取付高架橋P5・P6・P7橋脚 (建設業・有期事業)	・全工期無災害を達成。 ・店社では、建設業安全衛生マネジメントシステムを導入し、現場でも実践している。 ・現場代理人による毎日の巡視に加え、定期的に店社パトロールを行い、その都度、問題点の指摘し、改善されたことを確認している。
安全確保対策	日清紡ケミカル株式会社 旭事業所 (化学工業)	・約5年間、無災害。 ・リスクアセスメントの結果の周知に当たって、写真等を用いて改善前後の状況がよく分かるように配慮するなど、リスクアセスメントの取り組みが活発に行われている。 ・部署ごとに「ゼロ災グループ」というチームを作り、チームで月間安全衛生にかかる目標を設定やヒヤリハット事例の収集を行い、その結果を毎月報告させ、事業場内の水平展開に役立てているなど創意工夫と労使の協力により実施される安全衛生意識の高揚のための活動が活発に行われている。
安全確保対策	大和ハウス工業株式会社東京本店 LS千葉勝浦発電所新設工事 (建設業・有期事業)	・全工期無災害を達成。 ・作業毎にリスクアセスメントを実施のうえ作業手順書を作成、対象作業員を全員集め周知会を実施した。 ・朝礼台付近に元請職員及び下請業者の職長の安全宣言を写真付きで掲示するなど創意工夫と労使の協力により実施される安全衛生意識の高揚のための活動が活発に行われた。 ・造成工事と太陽光設備設置工事が重なり、大型重機が多数稼動する状況となることから、作業区画や立入禁止区画を明確に行い、接触事故防止を図った。
安全確保対策	成田空港給油施設株式会社 (その他の事業)	・約13年間、無災害。 ・リスクアセスメント実施基準を制定し、それに基づきリスクの見積もりはグループ単位で行うなど、実施方法の明確化を図るとともに全社的な統一化を図り、リスクの継続的な見直しを図る仕組みが確立されている。 ・ヒヤリハット事例の収集を積極的に行い、必要な改善を速やかに図るようにしている。 ・事業場から発注する工事に従事する者向けに安全の基本事項をまとめたテキストを作成し、周知を図っている。

分野	事業場名	主な受賞理由
健康確保(健康保持増進等)対策	山田機械工業株式会社 本社・工場 (一般機械器具製造業)	・ストレスチェック、定期健康診断、特殊健康診断をそれぞれ完全実施。 ・健康保持増進のため、始業前にラジオ体操を実施。 ・総務課全員に当たる6名が第一種衛生管理者の資格を取得し、それぞれが事業場における健康づくりに取り組んでいる。 ・社員食堂をリニューアルし、利用率が向上したことで、健康で働きがいのある職場づくりに繋がっている。 ・空調管理ができない職場における熱中症予防のため、スポーツドリンクや塩タブレット等を常備し、自由に摂取できるようにするとともに、冷却タオルや冷却ベストの配布等を実施。

3 功績賞(2名)

	個人名	主な受賞理由
	岩崎 喜司 (一般社団法人日本ボイラ協会千葉検査事務所 前所長)	・一般社団法人日本ボイラ協会千葉検査事務所に15年間勤務、そのうち、所長代理として1年、所長として6年間従事。 ・5年以上にわたり、「ボイラー圧力容器整備事業者連絡協議会」、「千葉県ボイラー圧力容器等製造者研究会」、「ボイラー等開放検査周期認定事業場連絡会」などの連絡会議を定期的を開催するなどして、ボイラー圧力容器の製造者、整備業者及び使用者の安全衛生水準の向上発展に多大の貢献をした。
	加藤 信夫 (東金管内ゴルフ場労働安全衛生協議会 前会長)	・東金管内ゴルフ場労働安全衛生協議会のメンバーとして16年間携わり、そのうち10年は同協議会の会長職を務めた。 ・会長職として、協議会で災害事例に対する原因及び対策への助言、リスクアセスメントの実施促進を指導した。 ・協議会の内容を災害事例及びリスクアセスメント実施報告を中心とすることにシフトさせたことにより、他のゴルフ場でのリスク及びその低減措置の水平展開が図られた。